



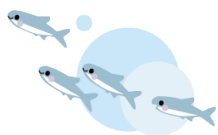
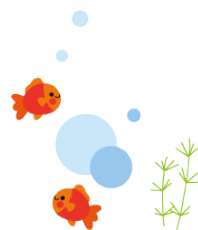
## 盂蘭盆の思い出

医師 園 真廉

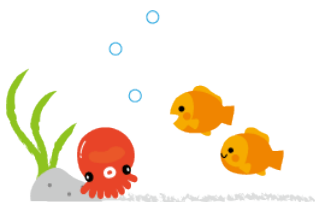


生きながら 死人となりて なりはてて  
思うがままに なすわざぞよき  
至道無難 禅師 (グレゴリオ暦 1603 - 1676 年)

先般、父が、その伴侶とともに建てた自宅建物を相続する権利をその子らが放棄する旨を証する遺産分割協議書を、法務局に提出するために、文書に署名押印してほしいと言ってきた。A4 版 2 枚ほどの簡素な書面だが、インターネットで見本を見ながら、慣れないパソコン作業に取り組んだ結果だった。文中、見本に倣って「〇年〇月〇日に死亡した〇〇 〇〇 (氏名)」という表現が目にとまった。えもいわれぬ感覚がよぎり、手が止まった。



『聖書』に「その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい」という表現がある。私的には、前者の「死人」は「この世における肉体としての生命活動が不可逆的に停止したと認められる個人」を指し、後者の「死人」は「神の愛から遠く離れてしまった状態にある個人」を指す、と理解している。神の愛という表現がピンとこなければ、日常のささやかなひとこまで誰しもが遭遇する出来事に人知れず唖然とするとか、感謝するという素朴な経験と表現できるだろう。



ここで、人が生きるとは、このような感覚に出会い続けること、その状態が更新され続けることだと定義したい。人が肉体という外なる存在を与えられているのは、この感覚に出会い続けるために、生老病死を通じた経験が必要だからなのかもしれない。そしていくらかの経験を経て成長した内なる存在 (心・霊・魂) は、機が熟せば、肉体の外套<sup>がいと</sup>を脱ぐことを許され、さらに成長の旅を続ける。あたかも、巣立ちを迎えた鳥や、種子を宿した果実のように。このように、人は永遠の生命を授かっている。



父が差し出した書面上の表現を目にして、えもいわれぬ感覚がよぎった、と感じたのはこうした理解に基づく。つまり、「〇〇 〇〇 (氏名)」さんは「死亡した」のではなく、「この世の住人ではなくなった」のである。ただ、「この世」とか「あの世」とかの本当のところはわかるのは神か仏かキリストかムハンマドか、云々、に限られる。したがって、我々のような凡人は、誰かが「あの世の住人になった」とか「他界した」と明言できない。ただ、その方の冥福を祈った結果として、「あの世に旅立たれた」とか「他界された」などとわかった気にさせてもらえる。

(裏ページに続きます)



また、そもそも「この世」とか「あの世」などという場は存在しないとか、わからないものをあれこれ考えても仕方がない、という生き様もある。この辺の事情を踏まえると、法務局に提出するような書面の見本には、「この世における肉体としての生命活動が不可逆的に停止したと認められる」という意味に限定して「死亡した」と表現せざるを得ないのかもしれない。いずれにせよ、この辺りは、何を信じるかは人それぞれである、という主題である。



その後、推敲中だったこの原稿に目を通した父との協議の結果、火を見るより明らかに、文書は完成した。

参照：アリュウ，イヴ=マリ；新宮，一成. 『その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい』—新宮一成教授の論文『精神分析における、死体現象、国家統制、そして不可能なものの伝達』の余白に寄せるいくつかの省察」. 人間存在論, 22: 29-41, 2016.

[https://repository.kulib.kyoto.ac.jp/dspace/bitstream/2433/227034/1/menschenontologie\\_22\\_029.pdf](https://repository.kulib.kyoto.ac.jp/dspace/bitstream/2433/227034/1/menschenontologie_22_029.pdf)

## ～お知らせ～

### 医師の不在・診療体制変更のお知らせ

#### 【 9月 】

- ・ 7日・14日（土）…………… 田中医師
- ・ 17日（火）…………… 一岡医師
- ・ 21日（土）…………… 中村医師
- ・ 9月30日～10月12日…………… 田中医師
- ・ 30日（月）…………… 永嶋医師

#### 【 10月 】

- ・ 4日（金）・19日（土）…………… 中村医師
- ・ 8日（火）…………… 園医師
- ・ 30日（水）…………… 一岡医師



### 育児相談外来を行っております

毎週金曜日の14:00から育児相談外来（無料）を行っております。  
詳しくはホームページをご覧ください。

### マイナンバーカードで受付をお願いいたします

受付にマイナ機器を設置しております。  
マイナンバーカードでの受付をお願いいたします。

### 「さかえ」を定期購読（月1回）しませんか？

糖尿病雑誌さかえ定期購読者の募集をしております。  
2024年4月号～2025年3月号の12冊で2400円です。  
詳しくは外来看護師までお声かけください。

